

# Asianux Server 3 + DB2 Express-C 9.5 VMware Virtual Appliance スタートガイド

## ミラクル・リナックス(株)

2008/04/08 1 版

### [Asianux Server 3 について]

Asianux Server 3 は弊社 MIRACLE LINUX V4.0 の後継 OS として、さらなる信頼性、安定性の強化を行った Linux OS です。

#### 使用権

この VMwareVirtualAppliance に付属の Asianux Server 3 は評価版です。  
詳細は、同梱の「Asianux Server 3 使用権許諾書」をご確認ください。  
評価版は弊社からのアップデートパッチの提供およびユーザサポートの対象外となります。

#### 製品版へのアップグレードとサポート

製品版へのアップグレードをご希望の場合は、弊社オンラインショップ等からライセンスをご購入、ご登録いただければ、製品版として使用することが可能です。  
製品版としてご登録いただくと、弊社のアップデートパッチの提供およびユーザサポート等の対象となります。

詳細は下記弊社 web サイトをご確認ください。  
<http://www.miraclelinux.com/products/linux/download/index.html>

### [DB2 Express-C について]

DB2 Express-C は無償で利用できる DB2 の新エディションです。  
DB2 Express-C には、中小・中堅企業向けの DB2 Express Edition for Linux and Windows®とほぼ同等の機能が提供されています。開発者、パートナー様あるいはお客様が、無償で信頼性の高い DB2 Express-C を評価、開発、使用することができます。

DB2 のライセンスについては添付の db2expc\_license.txt を参照してください。

DB2 Express-C の詳細については下記 IBM 殿サイトをご確認ください。  
<http://www-06.ibm.com/jp/software/data/db2express-c/index.html>

#### 製品保証および保守サポート

製品保証および保守サポートは提供されません。  
技術支援が必要な場合は、Web コミュニティのフォーラム「IBM DB2 Express Forum」をご利用ください。

[http://www.ibm.com/developerworks/forums/dw\\_forum.jsp?forum=805&cat=19](http://www.ibm.com/developerworks/forums/dw_forum.jsp?forum=805&cat=19)

#### システム前提条件

DB2 が使用する CPU 数は、2 コアまで  
DB2 データサーバーが使用するメモリ上限は 2GB まで  
※データベース・サイズやインスタンス数、サーバーあたりのデータベース数等の制約はありません。

## [利用方法]

1. zip パッケージを展開し、VMware image を適切なディレクトリ、フォルダに展開
2. VMware 製品を起動  
VMware Server 1.0.x、VMware Player2.0.x または VMware Workstation 5 以降を起動します。
3. vmx ファイルを開く  
展開された Virtual Appliance に含まれる.vmx ファイルを開きます。
4. 設定の確認  
デフォルトではメモリ割り当ては 1024MB、  
ネットワーク構成は NAT、1CPU の構成となっています。  
必要があれば設定を変更してください。
5. Virtual Appliance 起動  
Virtual Appliance を起動してください。
6. ログイン  
以下のユーザ名/パスワードでログインしてください。  
  
ユーザ名: root  
パスワード: miracle
7. 言語の選択  
日本語またはそれ以外(英語)を選択してください。
8. ライセンス条項承諾  
ライセンス条項の確認が行われます。
9. root パスワード変更  
root パスワード変更を行ってください。
10. db2 das ユーザ dasusr1 パスワード変更  
DB2 の管理ユーザー dasusr1 に設定するパスワードを入力して下さい。
11. db2 インスタンスユーザ db2inst1 パスワード変更  
インスタンス・オーナー・ユーザー db2inst1 に設定するパスワードを入力して下さい。
12. db2 fenced ユーザ db2fenc1 ユーザー パスワード変更  
DB2 の fenced ユーザー db2fenc1 のパスワードを入力してください。
13. ネットワーク設定  
デフォルトでは DHCP を使用しています。  
必要があれば、IP アドレス/サブネット/デフォルトゲートウェイを設定してください。
14. セットアップ終了  
セットアップ終了です。
15. db の動作確認方法の例  
db2inst1 ユーザでログイン後、startx コマンドで GUI を起動し、DB2 コントロール・センター(db2cc)等  
にて DB2 に接続し、使用できることをご確認ください。

## [環境について]

### **AsianuxServer 3 について**

32bit 版となります。

AsianuxServer 3 の 2008 年 3 月末時点でのパッチを適用済みです。

### **DB2 について**

32bit 版となります。

DB2 Express-C 9.5 はデフォルトパラメータでインストール済みです。

日本語ランゲージパックを適用済みです。

### **サンプルデータベース**

/home/db2inst1 以下にサンプルデータベース(XML および SQL のオブジェクトとデータ)を構築済みです。

インスタンス TCP/IP ポート番号:50000

### **VMwaretools**

インストール済みです。

## [その他]

Asianux Server 3 の設定については、同梱の Asianux Server 3 サーバー構築・運用ガイドおよび弊社サポートサイトをご参照ください。

<http://www.miraclelinux.com/support/index.php>

DB2 Express-C の設定については下記参考資料をご参照ください。

DB2 Express-C 9.5 for Linux クイックインストール

[http://www.ibm.com/developerworks/jp/offers/db2express-c/installlin\\_v95/](http://www.ibm.com/developerworks/jp/offers/db2express-c/installlin_v95/)

IBM DB2 Database for Linux, UNIX, and Windows インフォメーション・センター

<http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/db2luw/v9r5/index.jsp>

マニュアル

[http://www-1.ibm.com/support/docview.wss?rs=71&uid=swg27009728#jp\\_main](http://www-1.ibm.com/support/docview.wss?rs=71&uid=swg27009728#jp_main)